

日本広報学会 1997 年度
「企業のフィランソロピーと広報活動」研究会

中間報告書

1998 年 3 月

主査（理事）：関西学院大学教授 津金澤聡廣 編

日本広報学会「企業のフィランソロピーと広報活動」研究会・中間報告

〈はじめに — 研究会の発足と、1997年度における研究会の歩み —〉

津金澤 聡廣

本研究会は日本広報学会研究会運営委員会による研究会の一分科会として1997年6月に発足したが、関西での研究会活動のひとつとして、また、1995年1月17日以来体験した「阪神大震災における企業の危機管理」研究の延長線上のものとして位置づけることができる。阪神大震災に直面した企業各社は様々な社会貢献活動を展開したが、それらの諸活動の学習をとおして、さらに広く企業のフィランソロピーと広報活動についての歴史的、理論的、実践的研究の重要性を痛感するに至った。そこで、当面は主に関西における企業活動に関する研究、および欧米先進国との比較研究を目標に研究会は出発した。その概要は次の通りである。

〈第1回〉1997年6月26日(木) 於 関西文化サロン(大阪・梅田)

テーマ (1)「企業のフィランソロピーと広報活動」研究について

報告者：津金澤 聡廣氏(関西学院大学社会学部 教授)

(2)参加者自己紹介・近況報告

(3)今後の共同研究運営についての協議

司 会：川久保 美智子氏(関西学院大学社会学部 助教授)

〈第2回〉1997年7月23日(水) 於 関西文化サロン

テーマ (1)「ボランティアと市民社会」

報告者：立木 茂雄氏(関西学院大学社会学部 教授)

(2)各自の近況報告、その他

司 会：名取 千里氏(㈱ティーオーエー常務取締役)

〈第3回〉1997年9月24日(火) 於 関西文化サロン

テーマ (1)「祭りのフィランソロピー」(仮題)

報告者：貴多野 乃武次氏(前㈱遊時創造取締役社長、98年度より阪南大学教授)

(2)各自の近況報告、その他

司 会：川上 育子氏(㈱プラン・ネット大阪支社長)

〈第4回〉1997年10月30日(木) 於 関西文化サロン

テーマ (1)「関西メセナ界の新たな動向 — 大阪ガス・ワコール・TOAを事例として」

報告者：難波 功士氏(関西学院大学社会学部専任講師)

(2)各自の近況報告、その他

司会：川戸 和英氏(㈱万年社クリエイティブ局クリエイティブ第2部部长)

〈第5回〉1997年11月29日(土) 30日(日) 於 関西学院大学

第3回日本広報学会研究発表大会に参加(当日運営・司会・研究発表等担当)

〈第6回〉1997年12月17日(水) 於 関西文化サロン

テーマ (1)「国際ロータリーの職業奉仕活動」

報告者：二神 典子氏(『ロータリーの友』編集部写真編集主任)

(2)各自の近況報告、その他

司会：林 正実氏(日本信販(株)大阪統括部チーフマネージャー)

〈第7回〉1998年1月29日(木) 於 関西文化サロン

テーマ (1)「コープこうべと阪神淡路大震災」

報告者：山本 剛郎氏(関西学院大学社会学部教授)

(2)各自の近況報告、その他

〈第8回〉1998年3月25日(水) 於 松下美術苑真々庵(京都)

テーマ (1)真々庵見学「松下電器創業者、松下幸之助のフィランソロピー活動の原点を探る」

(2)「企業の社会文化貢献活動としての企業ミュージアム」

報告者：亀田 訓生氏(企業ミュージアムコンサルタント)

司会：小野 豊和氏(松下電器東京広報部)

以下の各論は、研究会参加者の報告要旨ならびに、研究会上での未発者については、今後の研究テーマに関する構想ないしは序説ともいふべき論稿である。

目 次

はじめに —— 研究会の発足と、1997年度における研究会の歩み —— 津金澤 聡廣

1. 「祭りのフィランソロピー」 貴多野 乃武次（集客プランナー） 1
（'98・4月より阪南大学国際コミュニケーション学部教授）
2. 「アドホック・ネットワーク組織による危機マネジメント：
関西学院における阪神・淡路大震災時の広報を資料として」
立木 茂雄（関西学院大学教授） 11
3. 「阪神・淡路大震災、松下電器の対応について」
小野 豊和（松下電器産業(株)広報本部東京広報部） 15
4. 「コープこうべと阪神・淡路大震災」 山本 剛郎（関西学院大学教授） 25
5. 「国際ロータリーの奉仕活動」 二神 典子（愛知学院大学大学院博士課程在学中） 31
6. 「関西メセナ界の新たな動向」 難波 功士（関西学院大学専任講師） 39
7. 「阪急西宮スタジアムはアメリカンフットボールのメッカ
—— 阪急西宮スタジアムの大改造にみる企業のフィランソロピー ——」
名取 千里（株式会社ティーオーエー常務取締役） 45
8. 「消費者金融のフィランソロピー（株）アイフルのケース」 川戸 和英（万年社） 57
9. 「日本におけるメセナ —— 社会貢献型カードについて」 林 正実（日本信販大阪統括部） 63
10. 「企業のフィランソロピー活動 —— 日米比較 ——」 川久保 美智子（関西学院大学助教授） 67
11. 「社会文化貢献活動としての企業ミュージアム“5年病” 打開への一考察」
亀田 訓生（企業ミュージアムコンサルタント） 73
12. 「マス・メディアとその企業文化についての予備的考察」 池村 六郎 81
13. 「大阪系企業の社会貢献活動についての事例的研究
—— 大阪毎日新聞慈善団と寿屋の邦寿会を中心に ——」
津金澤 聡廣（関西学院大学教授） 87

<編集後記> 津金澤 聡廣，難波 功士